

令和6年度 第11回崇化館地域会議 会議録

■日 時 令和7年3月18日（火）午後6時30分～午後8時00分

■場 所 崇化館交流館 4階 第2会議室

■出席者 <委員> 伊藤 貴史 稲本 泰孝 井上 眞一 太田 眞由美
木村 友浩 柘植 伸夫 戸田 博基 永井 靖美
永山 慎二 服部 啓二 林本 基 藤井 康博
本多 鋭孝 松山 純成 山内 由美子
<欠 席> 板倉 しをり 藤村 匡泰
<事務局> 杉浦 智文（拳母事務所長）
田嶋 優俊（地域支援課担当長） 青木 剛（地域支援課主任主）

■次 第

- 1 開会 豊田市民の誓い唱和
- 2 会長あいさつ
- 3 意見聴取について
(1) 令和7年度実施方針の決定
意見聴取の方法等について
質疑応答
(2) 今後の進め方
- 4 連絡事項

■議 事（要約）

3 意見聴取について

- (1) 令和7年度実施方針
内容は別紙のとおり。
- (2) 今後の進め方
内容は別紙のとおり。

4 連絡事項

- ・令和7年度の地域会開催予定について説明し4月は開催しないこととした。

《今後の予定》

●令和7年度 第1回崇化館地域会議

日 時：令和7年5月20日（火）午後6時30分～
場 所：崇化館交流館 4階 第2会議室

<意見聴取について>

- 事務局 意見聴取の方法について、今までの会議でのご発言をまとめた内容で提案させていただきます。
- 意見聴取の目的の絞込みと方法としての対象と手法について羅列したものの内容についてご質問があれば承る。
- 委員 防災については議論しないのか。
- 事務局 防災については夢フェスタでのイベント実施を検討中だが内容は事務局でお預かりして進めさせていただく。
- 副会長 意見聴取に提案は今までの会議での意見を事務局でまとめた内容であり、おそらくこれが全てであると考えられる。
- 事務局 グループ討議の意見を盛り込んでいるが、大きくはこの地域の意見を吸い上げるということで、「意見聴取を実施します。」「大きな目的はこういうふうに決めます。」という所を共有していただけたら、令和7年度の早い時期に具体的な内容の相談させていただくということを考えている。
- 委員 この会議体でどんな取り組みかを決めたときにメインで動くのはこの会議体のメンバーとなるのか。
- 事務局 基本的には地域会議で内容の検討等を行うが作業そのものを委員の皆さんにお願いすることはない。
- 委員 そうすると、回覧を使う、デジタルを使うとなった時、媒体の作成は別の誰かが実施するというだけでよいか。
- 事務局 地域に依頼するという段階で何らかの協力をいただくかもしれない。
- 委員 講演会を開催するとして、どのように講師を選定するのか。
- 事務局 講師に対するイメージなどを伺うことは考えられるが人選は市が行う。
- 委員 大学関係者もあるがいずれかの地域で活動している人も考えられる。イベントの企画運営は専門家に任せる手法もある。
- 事務局 目的として大きくは地域の課題を探るとしているが今後重要な課題があれば修正していく。目的の在り方についての詳細は今後ということになるが、現段階で事務局が次のことを考える上ではこれを基本にするということでのよろしいか。
- 「意見聴取を行う」「この地域にお住いの皆さんが何を求めているのかを探る」ということを基本に進める。
- 委員 意見を探るついでに人材の掘り起こしを行うということ。
- 委員 このアンケートを基にして市長への提言をまとめていくという形になるのか。
- 事務局 内容によっては前回同様提言となることも考えられる。
- 委員 今までの議論は横に置いておいて、ここから始まるということか。
- 事務局 事務局からお願いしたのは令和7年度地域課題解決事業としての水害対策の確認であり、意見聴取は今の地域会議委員の皆様の意見に基づく議論である。この二つは並行して進めている。今後この地域会議の議論により提言を行うこともひとつであり、その前提として他の方の意見を伺うという形もある。皆さんの任期を考慮してどのような形にするのかは今後のスケジュールも考える必要がある。
- 委員 令和7年度中に講演会なりシンポジウムを実施するという前提か。
- 事務局 今年には多くの課題が意見として出たが、その中でそもそも私たちだけの話でいいのかという意見があって意見聴取をという流れになっていると理解している。これを踏まえて提言等を考えるという流れだと考えており、令和7年度中にそこまで行ければと思う。

- 委員 7年度中にアンケートを実施というよりもっとスピード感をもって進めるべき。
- 委員 言いつ放しにならないように意見交換会のような何らかの形にしたいということ
- 委員 継続性というか決めたことはメンバーが交代してもある程度踏襲できるような会議体の仕組みがあった方がよい。防災の話はどうなったのか考えると複数のテーマを同時に進めることもあってよいのではないか。
- 事務局 防災は頂いた提言に対して、6年度と7年度の計画がありその中身の確認ということで話題としたもので事業は継続している。
- 委員 ここまで来たら次回ぐらいはアンケートにする内容が決まるのではないか。
- 委員 まずアンケートとするかどうか決めることから始めていくのではないか。
- 事務局 重要なことは意見聴取の対象を誰とするかで、それによって方法等も変わってくるし、聞きたいことも絞り込めるのではないかと考える。課題は何ですかというざっくりした質問だと、新しい人を巻き込むのは難しいのではないかと思う。ここを議論していただくと我々もある程度の提案ができる。
- 委員 今回は今までの意見を踏まえて、対象であるとか方法を絞り込んでいきたいが、全てを限定するのではなくバラつくことはいいと思うが一番大切な部分はぶれてはいけない。その辺はご意見をいただきたい。
- 事務局 前回は話題に出たが自治区回覧だと回答は世帯主がするので世代が限定的になる。だから誰の意見を聞きたいかで実施方法も変わる。
- 委員 大きくまちづくりというシンポジウムを行いその中で「私は子育て」「私は街おこし」といったテーマごとに分科会を行うこともあるのではないか。
- 委員 人材という点では、トヨタの従業員のように現役の時は地域に関わらずいたが定年になって今から動こうという人がいるというイメージがあるが。
- 委員 トヨタは、結構OBがボランティアを行っている。
- 委員 60歳から70歳でもタイミングが合うとやろうかという人がいるかもしれない。
- 委員 しかし先のことを考えると50代が必要ではないか。
- 委員 高校生や大学生は色々な地域から来ていて難しくて無意味なアンケートになってしまう恐れがある。
- 委員 専門の知見を有する外部機関を使うべきかもしれない。何を聞きたいかによってしっかり組み立てないといけない。
- 委員 児童生徒は学校の許可が必要となる。
- 委員 少し違う観点から考えて、ここの枠組みに地域企業を入れることはできないか。先ほどの話から会議では人の入れ替えがある、継続性の問題もある、地域の活性化という点で言えば、住民だけでなく、そこにある企業だとかも関係がある。金融機関は地域との連携をやりたがる。何か連携ができないか。大きな企業は多様なノウハウを持っている気がして、素人集団がやるより企業の知恵を貰うことを考え、そこから来てもらえれば企業のなかで継続性が維持できるという所もある。
- 事務局 場合によっては連携もある。崇化館という地域限定での企業連携ができるかは疑問もある。地域の企業のインタビュー形式でリサーチかけるということもある。
- 委員 住民に限らずこの地域をよく使う人からアンケートしてもよいと思う。地域だけでは限界があるような気がして外の力も必要ではないかと思う。
- 委員 会議に外部の人を入れるとまた違った展開があるというイメージか。
- 委員 地域を作っていくという責任を持たせるというか、地域を作るのは住民も企業も同じではないか。
- 事務局 豊信やJAと意見聴取の取組で連携をすることはできるかもしれないが地域会議のメンバーにできるかどうかは難しい。アンケートのなかで企業連携も問いの一つとすることを考えてみる。

- 委員 地域の活性化については地域内の意見だけでは目的は達成しない。地域外からここへ来たいかどうかという意見を聞く必要がある。
- 委員 地域会議はどういうものと考えているか市の担当職員の考えを聞きたい。
- 事務局 <個々の認識を説明>
地域会議は市への提言をいただく、逆に市の考えに対する意見をいただく機関。
- 事務局 基本的にはオール豊田ではない地域固有の課題を考える場。
意見聴取となった経緯は地域会議が本当に地域の代表として必要な意見を出し合っているのかという疑問があって、では一度地域の意見を聞いてみることも大事ではないかということでスタートしているので流れの中で出てきたもので唐突に出てきたわけではない。
- 委員 崇化館の住民は満足している人も多い。粗探しのようなことは必要なのか。満足度を聞いたらどうか。
- 事務局 満足度等は全市的に定期的にアンケートを実施しており地域会議で考えていただく内容とは異なると考えている。
- 委員 アンケートは確認の意味がある。
- 委員 コロナで状況が大きく変わったので現状把握は意味がある。若い世代の SNS 普及等、以前にはなかったものが見えてくるかもしれない。
- 委員 アンケートありきでなく意見集約が目的
- 事務局 アンケートを行うと決めているものではなく、本日の議論を踏まえて、どういったスタイルが一番良いか、できれば次回会議でご提案できればと考えている。本日は地域会議として意見集約を行うということ、意見集約には多様な手法が考えられるので7年度に一つの形にまとめようとする中々タイトなスケジュールになるが、基本的には委員が直接動かれるということではない。
手法について資料の内容を踏まえて来年度早々には提案をさせていただく。
- 会長 意見聴取に取り組むということで次回事務局から提案がされるということだが、自分も考えてみるが、今後のスケジュールについて説明して欲しい。
- 事務局 事業化するには3月までにはまとめる必要がある。頂いた意見を事業化するうえで、市の施策とするためのスケジュールについて素案をお示しする。意見聴取についてご意見があれば事前に直接地域支援課へメールをお寄せいただきたい。
- 委員 防災と並行ということであれば防災の進捗を会議ごとに報告して欲しい。
- 事務局 提言に基づく地域課題解決事業の推移を説明。
7年度の計画について多くの意見をいただいたが事務局で受け止めて実施していく。